



1. 心の自由を大切に

何が好きか、何を信じるか、どんな仕事をするか、
といった心の中で考えることは自由。

同じように、異性が好きか、同性が好きか、どんな
服を着たいか、どの性でいたいのかも自由。

法律を守り、周りの人のことも考えた上で、みんな
がそれぞれの「心の自由」を大切にしてほしい。

LGBTQという言葉で、少数派の人たちを
一括りにして捉えることには気を付けて
ほしい。「LGBTQの人」として関わるより、
「その人個人」として関わってほしい。





2. 覚悟をもって選んだ人生

身体の性と違う性を女性ホルモンで保つことは、身体に負荷をかけ、健康へのリスクも高める。

家族や友人との関係へ影響があるだけでなく、身体へも影響があることを覚悟して、自分本来の姿で生きる人生を選んだ。

子どもたちには、将来について焦らずじっくり考えてしっかり相談してほしい。

先生方は、軽はずみにアドバイスせず専門家へつないでほしい。また、知識や経験の少ない子どもに、判断・決断させることは危険だと認識しておいてほしい。



〈市民セミナー参加者アンケートより〉



- ・心の自由という発言が大変心をうった。一人の個性として認めることの大切さ。
- ・今日は、自分が思っていたLGBTQの問題とは違う視点から話を聞くことができました。つい、こどもの望むように対応するべきだと思っていましたが、必ずしもそういうわけではないと痛感しました。LGBTQについて、正しい理解をすることが、まず必要だと思いました。
- ・普段メディアを通してでしか接したことがなかったのですが、LGBTQという言葉が安易に使うのではなく、一人ひとりのことをしっかりと見ることが大切だと学びました。
- ・素晴らしい人生を選びましたね。人権は性の多様性です。はじめてのLGBTQ講演。女性ホルモンにはびっくり。

《※感謝の部分は省略させて頂き、原文どおり掲載しています。》